

DDW-Japan 2000 アンケート調査報告

DDW-Japan 2000 神戸は、各学会の会長の先生方、運営委員の先生方および事務局をはじめ多くの関係者のおかげを持ちまして過去に類を見ない12,500名を超える参加者をえて盛会裡に学会を終了することができました。 今回は新しい試みとして、学会運営を速やかにする目的で抄録の受けはインターネット上ののみで、又一般演題はすべてポスター発表形式と致しました。さらに、7学会が全面参加という今まで一番多くの学会参加となりましたが、各学会の協力によりDDW-Japan運営諸経費の節減に努力いたしました。 今回も例年同様アンケート調査を実施いたしましたところ、多くの学会員の方々から色々な意見が出されました。本学会開催についての満足度を見ますと、80%以上の方が普通以上の満足を示しており、DDW-Japanそのものに対する開催の意義を理解し御賛同いただいていると思われました。しかしながら一部の会員からは各学会の開催日程に対する要望、参加費が高すぎるとの問題点も提起されております。21世紀を迎えより良い形でのDDW-Japanとするべく、運営における益々の経費削減、演題採用形式、発表形式など、今後ともご意見、ご教示を賜りたくお頼い申し上げる次第です。

はじめに

日本消化器関連学会週間（DDW-Japan）は今回で8年目を迎え、消化器病学会、肝臓学会、消化器内視鏡学会、消化器集団検診学会、脾臓学会、胆道学会、消化吸収学会の7学会が全面参加で行われたはじめての学会で、2000年10月25日（水）～28日（土）までの4日間にわたり、神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場、ワールド記念ホールの4会場で開催されました。

神戸という地の利の良さもありましたが、各学会の努力により独自性を保しながら、各学会の協力と連携を深めDDW-Japanとしての合同企画運営については最善の努力をして参りました。幸いにも、参加人数は12,541人と過去最高の記録となり、盛会のうちに終了致しました。しかし、神戸ポートピアホテルを中心に比較的会場は隣接しているにも関わらず、4会場に分れたため、聞きたい演題が重なったりして会場の移動が大変であった等、大きな学会である故の問題点の指摘もアンケート調査から見いだされました。今回は498名（全参加者の4.0%）からのアンケートの回答が得られました。以下にアンケート調査の概要を紹介いたします。

1. 学会開催日

今回は水・木・金・土の4日間の開催でしたが、現状で良いとの解答の他に、金・土・日又は土・日・月の3日間、土・日・月・火又は金・土・日・月の4日間など土・日を挟んでほしい。又、平日にメインテーマが多いと一般病院勤務の者は出席しづらいとの意見もありました。参加学会の数、演題の数等により日程を短縮するのは難しいと考えますが、合同の意味合いを重視した今後の検討にゆだねたいと思います。ただ日曜を挟むと会場の一部にホテルを使用することは現実として難しい問題も含んでおります。

2. 参加費

昨年のアンケートにもありましたが、25,000円（事前登録20,000円）は高いという意見が多く見られました。参加費の問題はいつも問題提起されております。その改善策として、4日間全部参加できる人は少ないので参加日数による割引、前半後半による割引等を考えて欲しいとの意見がみられました。

一方、複数学会の参加であり、学会内容を考えれば、バラバラに参加することを思えば安いとの意見もありました。中には、詳細な会計報告要求や、評議員の宿泊費や食費をこれまで貰うのはおかしい等の誤解されていると思われる意見も記載されており、時代の流れを痛感致しました。この学会は合同開催の共通主題の多い学会ですのでDDW-Japanとしての独自性を考えた上で参加費を御検討下さればと考えております。

3. 取り上げて欲しいテーマ

色々あげられていますが、治療のガイドラインやコンセンサス、遺伝子治療、インターフェロンのプロトコール、消化器の救急医療、等の治療に関するもの他に、医療過誤、医療訴訟に対する対策、検査手技・治療と保険審査での査定といったり臨床の立場での意見が多く寄せられていましたのは、前回と異なる点と考えます。

4. ホームページについて

今回全ての演題申込をインターネットでの申し込みとしましたが、その抄録申し込み時や検索において、一部煩雑

DDW-Japan 2000 運営委員会

第38回 日本消化器集団検診学会秋季大会	会長 岩崎 有良（日本大学第3内科）
第31回 日本脾臓学会大会	会長 小川 道雄（熊本大学第2外科）
第42回 日本消化器病学会大会	会長 川崎 寛中（鳥取大学第2内科）
第36回 日本胆道学会総会	会長 褐所 宏光（千葉大学第1内科）
第60回 日本消化器内視鏡学会総会	会長 酒井 義浩（東邦大学大橋病院消化器診断部）
第31回 日本消化吸収学会総会	会長 高橋 恒男（社会保険山形健康管理センター）
第4回 日本肝臓学会大会	会長 辻 孝夫（岡山大学第1内科）

でスムーズでないところが見られました。メニュー選択の簡素化、入力登録の簡素化の必要性とともに、各学会のホームページへのリンク、YAHOO！や消化器病学会のホームページからのアクセスの確実性と簡素化、検索される掲載内容の充実など、コンピュータを駆逐した更なる改良が望まれました。又、CD-ROMの発送が遅すぎるとのおしゃかりもでした。

5. 個々のセッションについて

各学会とも協力して参加人数等を事前に予測した上で部屋割りを行いましたが、それでも非常に混雑し座席数の足りないセッションと、空席の目立つセッションの差が見受けられました。平均的な参加人数を考慮し、話題性のあるワークショップやシンポジウム、ランチョンセミナーなどは、重ならないようなセッション作りの更なる配慮の必要性を認識いたしました。又、今回は一般演題をすべてポスターとしましたので、ポスターの数も多くポスター会場が混雑するとの意見もありました。

合同セッションについて、DDW-Japanだからできるので同一臓器、同一疾患は全て合同にして欲しいとの意見と、主題の数を減らし重複を避けて十分な検討時間を確保したい等の意見がありました。

又、教育講演については、さらなる内容の充実をはかり、日程を1日にまとめず開催期間中すべての日時に開催した方が良いとの意見、参加証の配付時間の問題点があげられています。これらも今後の検討課題と言えます。

国際シンポジウムに関しては、特に設ける必要はなく、各セッションの中に海外からの参加があればよいとする意見と、テーマについても検討の良しがあるとの意見がありました。

6. セッション割り振り時間について

DDW-Japan合同のシンポジウムやワークショップばかりではなく、各学会単独のシンポジウムやワークショップも有りますので、類似演題の多さと、時間的な重なりを指摘する向きもありましたが、今回のプログラム委員会としては、十分重複を避けるように配慮したつもりでしたが、各学会の開催日程もありますので、なかなか難しい問題でした。今後は、より総合的立場からの検討に期待したいと考えています。

7. 演題全体について

一般演題のポスター発表主体につきましては概ね好評でした。但し、発表時間と討論時間、ポスターセッションの演題数、演題の重なり、等の改良点の指摘もありました。

又、興味ある主題をタイムリーに選択していたとのお褒めの言葉もありましたが、さらに内科・外科の合同セッションの増設希望、抄録集の活字の拡大化、昼休み時間の短縮とポスターセッション中のランチョンセミナー開催の禁止、肝臓学会の4日間分散開催希望、心身医学の分野の開拓等種々の希望も提案されていました。

8. ランチョンセミナー

& サテライトシンポジウムについて

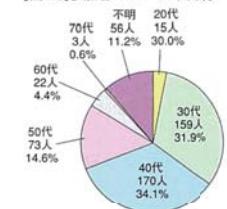
まず、整理券の配付についての不満が多く認められました。今回、整理券を受け取るのにかなりの時間を要していましたので、講演発表も聞けない人も出現し、何のための整理券配付かわからなくなりました。配付場所の増設、配付時間の改良等の見直しの必要性を痛感いたしました。又

お弁当は内容の貧弱性、安全性を指摘する意見、講演の内容、会場の数、テーマの固まり、ビデオ画像の悪さやスクリーン等の設備の悪さを指摘する意見もありました。ランチョンセミナー&サテライトシンポジウムは学会運営上、非常に重要なことですので更なる検討が必要かと思われました。

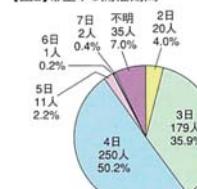
【図1.a】参加者について：施設別



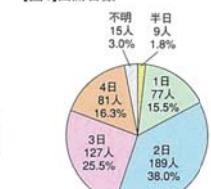
【図1.b】参加者について：年代別



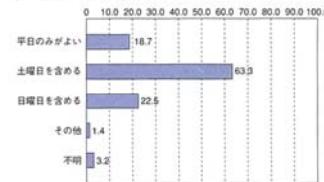
【図2】希望する開催期間



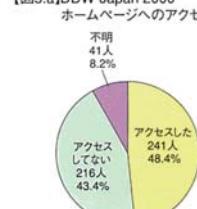
【図4】出席日数



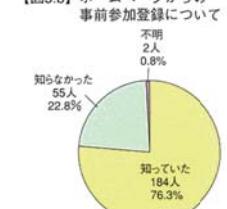
【図3】希望開催曜日



【図5.a】DDW-Japan 2000 ホームページへのアクセス



【図5.b】ホームページからの事前参加登録について

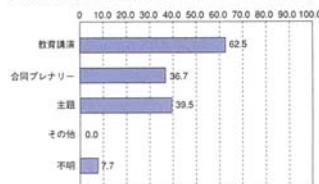


【図6.a】合同セッションについて

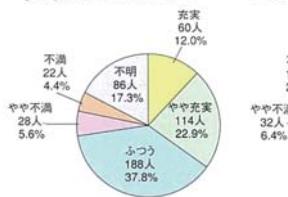


DDW-Japan 2000 アンケート調査報告

【図6.b】今後合同を希望するセッション(複数回答可)



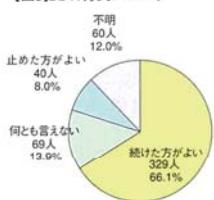
【図7】会場運営全般について



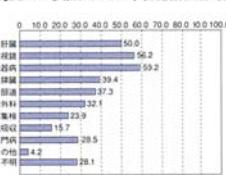
【図8】今回のDDW全体について



【図9】DDW方式について



【図10】DDWに参加してほしい学会(複数回答可)



9. ビジネスセンターについて

経費節約のために必要ないという意見と、24時間使用を希望する意見とがありました。今回の使用経験としては検索ソフトが不十分であったりとメンテナンスの悪さも見られましたので、今後はさらに充実していただきたいと思います。又、持参のパソコンを使えるコーナーもとれれば便利と考えます。

10. 昼食について

昼食に関するアンケートの回答が最も多く見られまし

た。昼食はランチョンセミナーを利用した人が多く見られ、大変役立ったと好評の反面、今回の弁当自身の内容の悪さと各会場の均一性、毎日同じ様な内容と弁当自身への不満は例年なく強いようでした。見た目の良さだけではなく、コストに見合った内容のある弁当の確保、もしくは、ランチョンセミナーは弁当の楽しみもありますが、主体はあくまで勉強なので簡単に食事できるサンドイッチやコーヒー、ランチボックス等でも良いのではないかと考えました。又、整理券配付につきましては課題が残されましたので今後は改良していただきたいと思います。

11. 休憩所について

コーヒー、紅茶、ドリンクサービスの場所や休憩所の増設を求める反面、休憩所の場所がわからずに利用できなかっただと言う人もみられますので、案内情報の徹底化が必要であると思われました。さらに、休憩所はすべて喫煙のけむりが充満し休憩にならなかった。禁煙・分煙の徹底化を図ってほしいと言う意見もありました。社会的に禁煙者が多くなっている現在では喫煙場所につきましては屋外など十分検討の必要性があると思われます。

12. 交通手段について

タクシー以外はJR新神戸からのアクセス、三ノ宮一会場間のアクセスに時間が掛かるのでシャトルバスの希望がありました。ホテル間のリムジンの希望もありました。

13. DDW全体について

神戸での開催については賛成派と反対派がありました。それは自分の住んでいる場所との問題もあり、概ね好評でした。会場についても、まとまっていると解答した人と、4カ所に分散しているので不便と解答した人の両者がありました。これは、個人の感覚に寄るところが多く難しい問題と考えますが、7学会が全面参加した今回のDDW-Japanでは、コンパクトにまとまっていた学会であったと自負しております。

開催曜日に関しましては、日曜日の開催の必要性が勤務医の多くの方から寄せられました。また、各学会の開催日程につきましては、全ての学会が4日間連続し、同時進行方式で行って欲しいとの意見がありました。会場の割り振り等に問題なければDDW-Japanの主旨を考えますとこれも一考の価値があると思われます。

抄録集についてですが、各学会が合同で開催されていますので、学会ごとの抄録集ではなく、DDW-Japanとしての抄録集の必要性を訴える意見もあります。しかし、全抄録を掲載すると、非常に厚くなり携帯するのに適さないところから例年合同プログラムとしています。

14. DDW方式について

勤務医にとっては日程的に学会に参加できるのは年1回程度が限度でも有り、DDW方式は参加している多数の学会の内容を一度に聴取し勉強できるので便利です。合同企画の演題が存在し多方面の検討ができます。学会が多すぎるので、DDWを年1回でよいという意見と、全日参加は難しく、合同だと逆に参加しづらいとの意見のもありました。セクションも重なりが多い、参加費が高すぎる事への不満をもつ人もいましたが、大部分の人は賛成でした。DDW方式を広めるためには、日曜日を含めた開催期間の考慮は必要だと思われます。

15. 参加希望学会

消化器を取り扱っている全ての学会に参加して欲しいという意見と、超音波学会、日本癌学会、ドック学会、大腸肛門学会、医学放射線学会、外科系の参加を希望する意見がある一方、DDW方式反対の意見も極く少数には認められました。

以上が今回のアンケート結果の骨子です。

DDW-Japanの原点は、分散化し専門的になりすぎた消化器関連の学会を一つにまとめる事によって、消化器病全体の学問的な流れを把握し、内科・外科などの、消化管・肝・胆・脾などの各専門分野の医者が合同で、共通の演題に対して討議し、学び、更なる進歩発展を目指す事です。各学会の独自性を保ちながら、一つの学会ではしなじ得ない合同企画ならではの内容の充実と、多方面からの検討を加えることによる学問の向上を図り、学会主催者および参加者各自の統合による経済的負担の軽減、効率化を図り、無駄をなくしてゆくことが今後のDDW-Japanの発展につながることと考えております。今後とも、会員の皆様から愛されるDDW-Japanを作りあげていくことが今回参加した7学会運営委員全員の願いです。

今後とも宜しく関係諸氏の厚いご支援とご協力、ご指導を心からお願い申し上げます。